

東城路活性化役を新設

庄原市 前支所長に委嘱

庄原市は、国土交通省の夢街道ルネサンスに認定されている東城町の「街道東城路」の活性化コーディネーターを新設した。前東城

東城路を中心とした町並み保存、観光振興などの企画や、行政などへの助言をする。

支所長の木村幸子氏(61)＝東城町東城Ⅱに委嘱した。委嘱期間は本年度末まで。再任もできる。コーディネーターは

市東城支所地域振興室によると、東城路を中心とした地域の活性化が狙いで、秋の行楽期を前に新設した。「地域のまちづくりに関わってきた経験と実績から木村氏に委嘱した」としている。

活動は1日8時間で、週5日まで。市臨時職

員の賃金基準を基に報酬として月額7300円を市が負担する。

東城路は町中心部の商店筋約600㍍。昨年、夢街道の認定を受けた。通り沿いには市が保存活用している元旅館「三楽荘」や市交流施設「えびす」がある。(菊本孟)

2011年 8月17日 中国新聞